

# 野菜の成長から 子どもの心の成長へ

～植・触・食・職～

伊那市富県保育園





# 保育園前の田畑さんの畑



# 保育士の願い

作物の成長の不思議・収穫する喜び・  
食べる楽しさなどを感じながら、食に  
対してさらなる興味・関心を広げ、  
『生きる力』につなげたい。

# 主な取り組み

①地域の方とのお米作り

②小学校との交流

③給食食材の野菜の皮むきと、ミニトマト作り

# 地域の方とお米作り JA青壮年部



田植え



がんばれー！



かかし

鳥に食べられないように  
守ってください！





稲刈り



# 年長さん(5歳児) 小学校との交流

5年生  
と



ポップコーン



2年生  
と



大豆



## 5・5交流

## ポップコーンの収穫



## ポップコーン作り



おいしいね！

# 年中さん(4歳児)

## 玉ねぎの皮むき

やってみたい  
なあ!

たまねぎって  
どういうふう  
できているのかな?



年長さん  
に  
教わって



## 年中さん 4年生と交流



じゃがいも  
ほり



玉ねぎうえ



「貝沼の自然環境を守る会」の方に  
ご協力をいただいて

# 年長さん 親子でミニトマト作り



どうしよう！葉っぱが  
茶色になってきた！



虫メガネで  
アブラムシを  
見つけよう！



大きくなあれ！



ミミズを入れると  
大きくなるかな？



ぼくのお腹  
のところ  
まで大きく  
なったよ



脇芽をとるよ



早く  
食べたいな！

# 年少さん(3歳児) 豆苗作り







いっぱい  
とれていたの  
に、どうした  
んだろう？

どうしてアブラムシが  
いなくなってきたの？



トマトと さよならなんて  
イヤだあー！



はっぱもどどん  
かされてっちゃうよ！



# 【考察】

- ①年長の活動を見ていて他の子どもたちもやりたい気持ち膨らみ、保育士と一緒に興味を示し各年齢ごとの見通しを持ったことで、園全体での食育活動に発展した。
- ②親子での栽培は、日々世話をしたり観察することができる年長ならではの活動となり、成長や収穫の喜びも大きく、食べ物を大切にしたり食べることが楽しいと思う気持ちを育むことができたと思う。
- ③地域の方や小学校・保護者の方と連携し共に行う活動が、更に子どもたちの心を動かし『生きる力』につながっていると感じた。

# 【課題と対策】

- ①子どもの意欲や気づきに常に寄り添える保育士の豊かな感性を磨き、「不思議だな・知りたい」と思った時にすぐに対応できる環境を整え、保育に見通しを持ちながら、“安全で美味しく楽しい食育活動”を進めていきたい。
- ②今後も家庭と一緒に楽しめる活動を行い、子どもの様子や経過等を共有しながら、食の大切さを伝えていきたい。
- ③地域や小学校との連携の継続をお願いし、豊かな原体験を積み重ね、小学校へつなげていく。⇒更なる『生きる力』となり、地域全体でこれからの食農について考えていくきっかけとなることを願います。

